



ごみ減量

ダンボールコンポストで 生ごみが肥料に変身！

家庭から排出されるごみの約4割を占める「生ごみ」をリサイクルすることで大幅なごみ減量化につながります。家庭で簡単に作成することができる「ダンボールコンポスト」で、生ごみを肥料に変えてみませんか。

作成手順

- ① ダンボールの底のすき間を、ガムテープでふさぐ。
- ② もみがらくん炭を先に入れ、平らにした後、ビートモスを入れる。
割合は3：2。合わせた量はダンボールの半分程度まで。
- ③ ビートモスを霧吹きやジョーロで湿らせながら全体をかき混ぜる（全体が少し湿っている程度に仕上げる）。
※水は 500ml程度が目安
- ④ バナナの皮やキャベツの葉などを入れ、ダンボールのフタをして、7日前後様子を見る。通気を良くするため、すのこなどに乗せる。
※微生物が活動するようになると分解されます。
- ⑤ （分解されたのを確認した後）きちんと水切りをした生ごみをダンボールに入れる（1日概ね 500g 程度）。空気を入れながら下からよくかき混ぜる（生ごみを入れない日も1日1回は混ぜる）。
※順調に生ごみが分解できれば温度が 40℃程度になる。
- ⑥ 生ごみの投入をやめてから、概ね 1ヶ月程度で堆肥の完成（バサバサした状態）。
※ 1つのダンボールコンポストで、概ね 3ヶ月間分解可能。
1日 500g 投入した場合、3ヶ月間で約 25kg の生ごみが堆肥化されます。

▼投入する生ごみの注意

- ・野菜くず等を中心にする、ニオイがきつくない。
- ・魚のあらや、ネギ類を入れるとニオイがきつくなる。
- ・茶がらや柑橘系の皮を入れると生臭さが緩和。

▼入れないほうがよいもの

卵の殻（入れる場合は粉々に砕く）、肉類や魚の太い骨、たまねぎやとうもろこしの芯・皮、貝殻（分解不可）

用意するもの

ダンボール 2箱（りんご箱程度の大きさのものとそれより一回り大きい箱）、ガムテープ、基材（ビートモス 12ℓ、もみがらくん炭 8ℓ）、スコップ

